

旭川医科大学図書館における 学生や地域に根差した地道な取組み

磯本 善男、田中 愛子、糸林 真優子
旭川医科大学図書館

1. 概要

旭川医科大学図書館は、蔵書数 15 万冊程の小規模な図書館である。入館者数も年間 10 万人程で、利用者を増やすことは恒常的な課題である。利用者に図書館を身近に感じてもらえるよう、地道な取り組みを続けている。「ブックハンティング」、「ミステリーツアー」といった、学生をターゲットにした様々な形態のイベントの開催、学内展示や他機関への出張展示、地域の医療従事者への特別利用といった取組を紹介する。

2. 取組事例

①ブックハンティング・ミニミニ本屋さん・リクエスト大会

旭川市内の書店に訪問、もしくは、図書館内に書店から取り寄せた図書を配架して学生等を選書してもらう企画。例年 2 回程度開催しており、毎回 30～50 名程度の参加、150 冊程度の購入実績がある。購入した図書はブックログ等でも公開している。

また、コロナ禍の期間、ブックハンティング・ミニミニ本屋さんの代替えとして実施したリクエスト型の選書が好評だったため、令和 4 年度からは「リクエスト大会」として定期的に開催している。

②図書館ツアー・イベント

図書館にまつわる謎を解きながら利用者に館内を回ってもらう「ミステリーツアー」等、図書館に興味を持ってもらえるようなイベントを実施している。

③学内・出張展示

図書館内で特定のテーマでの展示だけでなく、小樽商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学との交換展示「ややや」、旭川市図書館との連携事業の一環としての出張展示等を実施している。

④地域医療従事者特別利用

道内の医療従事者の方々も旭川医科大学図書館を利用できる。申請（要在职証明／年度更新）された方は通常の開館時間外（夜間・土日等）も入館でき、図書の貸出やウオークインユーザーとして電子ジャーナル等の利用も可能である。

年間、延べ 7・80 名ほどの利用があり、仕事の後や休日などに利用できることから根強いニーズがある。



R6 年度ミニミニ本屋さんの様子



館内展示の様子